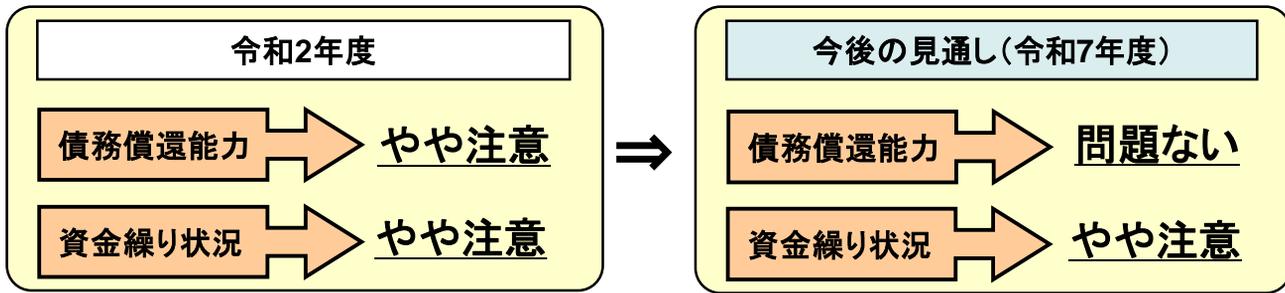


武豊町の財務状況把握結果(要旨)

(R4. 1. 18 財務省 東海財務局)

総合評価



財務指標

| 指標 | ① 実質債務月収倍率 ($\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$) | ② 債務償還可能年数 ($\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$) | ③ 行政経常収支率 ($\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$) | ④ 積立金等月収倍率 ($\frac{\text{積立金等残高}}{\text{行政経常収入} \div 12}$) |
|------|---|---|--|---|
| 問題なし | 3.7月 ↑ 18.0月 | 短期化 ↑ 3.3年 | 上昇 ↑ 9.3% | 3.1月 ↓ 3.0月 |
| やや注意 | 18.0月 | 15.0年 | 10.0% | 低下 ↓ 1.0月 |
| 注意 | 24.0月 | | 0.0% | |

留意点

債務償還能力(①、②、③)

資金繰り状況(②、③、④)

貴町は、臨海部への企業誘致を中心に産業都市として発展してきたことに加え、利便性の良い交通網が整備されていることから、都市部のベッドタウンとして、人口は継続して増加してきた。

財政面では、類似団体と比較高い税収を確保できており、人口増加により個人住民税は堅調に推移している一方、法人からの税収は業況、投資動向に左右されるため、近年は普通交付税の交付・不交付団体の移行を繰り返している。また、下水道事業会計への繰り出しが高止まりしているほか、委託料を中心に物件費の増加や、一部事務組合への負担金を中心に補助費等が増加している状況にある。

貴町は「第6次武豊町総合計画」において、まちの将来像を「心つなぎ みんなでつくる スマイルタウン」と掲げ、武豊中央公園整備、知多武豊駅東土地区画整理、屋内温水プール建設など「まちづくり」の大規模事業を進めている。また、「公共施設等の老朽化対策」を推進し修繕・更新費の抑制を図るため「武豊町公共施設等総合管理計画」を策定し、最適な施設配置と長寿命化による持続性のある公共施設サービスの実現に向け、計画的な取組みを進めている。

今後は、企業の設備投資による税収増加が見込まれるものの、業務の多様化に伴う職員の増員が必要となり人件費は増加傾向にあること、人口構造の変化による扶助費の増加も予測されること、引き続き「まちづくり」並びに「公共施設等の老朽化対策」を進めるためには多額の財政負担が必要となるなど歳出の増加は避けられず、計画的な財政調整基金からの繰入が必要となる見通しである。

については、歳入歳出のバランスを図りながら積立金等の水準にも留意した、健全で持続可能な財政運営に努められたい。

財務指標の経年推移

| | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | ※平均値は、いずれもR1年度 | | |
|-----------|-------|-------|-------|------|-------------|----------------|-----------|--------------------|
| | | | | | | 類似団体 平均値 | 全国 平均値 | (参考) 愛知県 平均値 |
| ①実質債務月収倍率 | 5.9月 | 4.2月 | 3.3月 | 3.6月 | 3.7月 | 6.7月 | 8.5月 | 5.5月 |
| ②債務償還可能年数 | 5.8年 | 3.6年 | 2.4年 | 3.6年 | 3.3年 | 5.9年 | 8.0年 | 5.7年 |
| ③行政経常収支率 | 8.4% | 9.6% | 11.2% | 8.1% | 9.3% | 10.7% | 11.4% | 12.2% |
| ④積立金等月収倍率 | 3.3月 | 3.5月 | 3.7月 | 3.3月 | 3.1月 | 6.3月 | 7.4月 | 4.9月 |